

「金城哲夫のふるさと 沖縄・南風原町脚本賞」を舞台化!

南風原町劇団海 第3回公演

くるがにぬゆ

— 鉄ぬ世 —

2020 2/22 土

19:00 開演 (18:30 開場)

2020 2/23 日

14:00 開演 (13:30 開場)

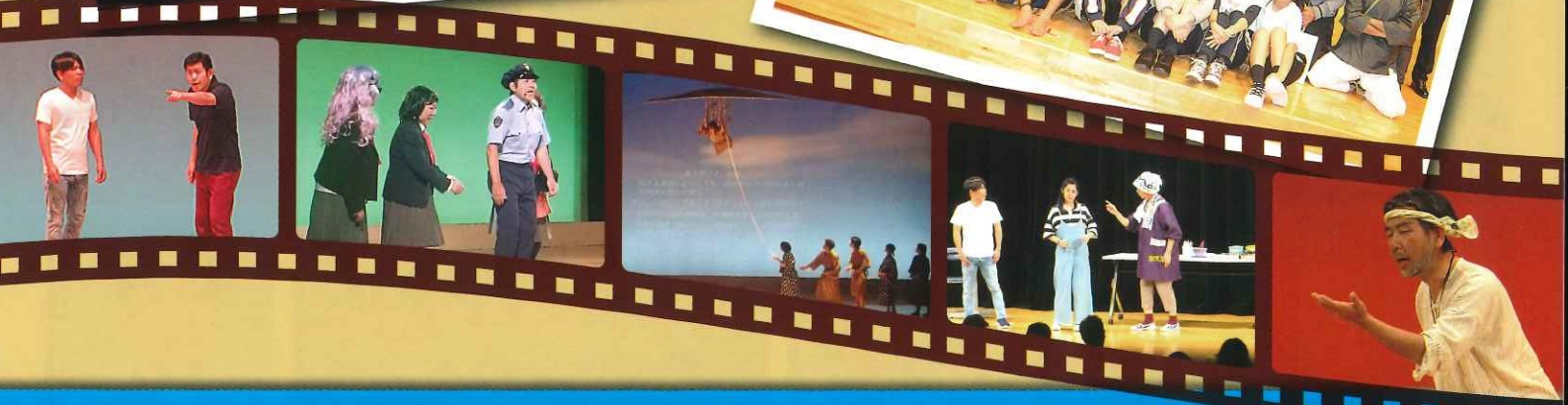
場所：南風原町立中央公民館 黄金ホール【全席自由】

【前売り】一般：1,000円 / 高校生以下：500円 (学生証提示)

【当日】一般：1,500円 / 高校生以下：1,000円 (学生証提示)

【チケット取扱】098-882-6776 / はえばる観光案内所 (9:00~17:00)

原案：近本洋一 / 脚本・演出：仲座健太 (南風原町喜屋武出身) / 主催：一般社団法人 南風原町観光協会



共催：南風原町、南風原町教育委員会、南風原町社会福祉協議会、ウルトラマンの脚本家 金城哲夫のふるさと南風原町住民会議

後援：南風原町商工会、南風原町PTA連絡協議会、南風原町青年連合会、南風原町老人クラブ連合会、島尻青年会議所、琉球新報社、沖縄タイムス社

協力：FECオフィス / 劇団「海」運営委員会：お祭り酒場一笑懸命笑撃的、たけ事務、みなみ印刷

劇団 海 公演

あらすじ

人々の生活になくなくてはならない「鉄」。
今から約800年前、
その「鉄」が沖縄に伝わったとされるグスク時代。
人々の生活は劇的に変わり、豊かになっていった。
それから時を経て、沖縄戦。
悲しい歴史の中でもやはり「鉄」は必要不可欠なものとして存在していた。
そして、現代。もはや当たり前にある「鉄」。
いつの世も「鉄」は「鉄」として変わらずに
存在する。それを扱う人間次第で「鉄」はいかようにも姿を変えていく。
「鉄の世」は過去から現在へと、繋がっていく。

「鉄」を通じて、変わっていくものと変わらないもの、そして南風原の芸能と、
劇団「海」。メンバーの個性あふれる魅力。全てを詰め込んだ、お楽しみ袋的な
お芝居となっています。

マンチャーピンチャーして、コメディで、お笑いたっぷりに色んなものをお見せ
しますので、ヤーニンジュで遊びに来て頂ければこれ幸いです。

今回は土曜日、日曜日の開催！

駐車場に限りがありますので、ぜひお早めのご来場、よろしくお願ひします。
開演時間に家を出る、ではなく、開場時間に間に合わずように、
アワティーハーティーして来て下さいね！
(上演時間：約90分)



大城明範
(FEC・与那覇)



玉城舞歩
(兼城)



新垣匠
(喜屋武)



しろま ゆうた
(FEC)



新垣敏
(与那覇)



照屋 愛
(神里)



大城久美子
(大名)



長谷川文子
(南城市)



平良実織
(FEC)



稲福千秋
(第一団地)



おとね
(南風原町)



わたぬき かな
(FEC)



神里 姫富
(八重瀬町)



城間正勝
(南城市)



入慶田本昌義
(糸満市)



町田ちほ
(FEC)



鳩間朝子
(大名)



金城勝子
(大名)



ちゃちゃ
(津嘉山)



諸見里 元
(南風原町観光協会)



南風原町へちま大使 ビュウリーズ



脚本・演出
仲座 健太